

創薬人育成スクール

日時 2024年7月12日（金）
9：20～11：40

会場 広島大学薬学部 第2講義室

9:20 開会挨拶

9:30～10:25

新しい薬の可能性を開く核酸医薬

根津 淳一 先生（持田製薬）

新しい医薬品のモダリティとしてASO（アンチセンスオリゴヌクレオチド）やsiRNA（small interfering RNA）といった核酸医薬が注目を集めている。従来の低分子医薬や抗体医薬では作用することができない標的に対しても核酸医薬は作用することができるため、これまでは薬を作ることが不可能であった疾患に対しても有効な薬を作ることができると期待されている。本講義では、これまでに承認された核酸医薬を取り上げ、薬理メカニズム・臨床での有用性などを説明するとともに、siRNA創薬の実際について弊社での例も交えて紹介する。

（休憩）

10:40～11:35

「古くて新しい病気“結核”への挑戦」

— 多剤耐性肺結核治療薬 Delyba® (Delamanid) の創製 —

佐々木 博文 先生（大塚製薬）

結核は再興感染症として世界中で問題視されていた。大塚製薬では1992年から本格的な新規抗結核薬の探索を行い、2001年に新規誘導体のOPC-67683 = Delamanidの合成に至り、前臨床試験・臨床開発の後、2014年4月に欧州医薬品庁（EMA）、同7月に日本での販売承認を取得した。1994年にこの誘導体の合成研究に着手して、フェノタイプ創薬手法でDelamanidを発見・前臨床・臨床移行・2014年上市するまでの約20年間の足跡について紹介する。

11:35 閉会挨拶

連絡先：広島大学大学院医系科学研究科（薬） 熊本 卓哉

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3 TEL: 082-257-5184

E-mail: tkum632@hiroshima-u.ac.jp